

今日のトピック 最近の指標から見る中国経済（2016年4月）

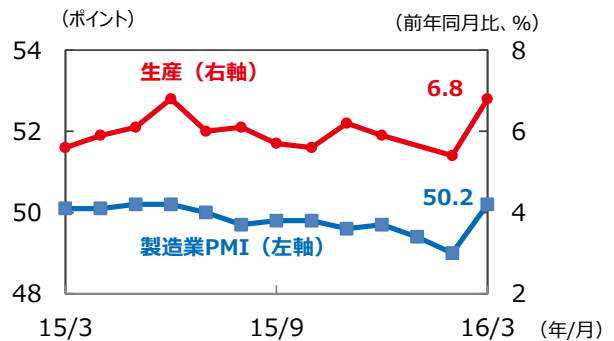
景気減速傾向にいったん歯止め

ポイント1 GDP減速は予想の範囲

3月の景気指標は回復

- 2016年1-3月期の実質GDP成長率は前年同期比+6.7%と、3期連続の減速となりましたが、中国政府の2016年経済成長率目標「年6.5%～7.0%」の範囲内であり、市場予想通りでした。
- 最近発表された3月の各種景気指標は、改善を示すものが目立ちます。中国政府による景気下支え策の効果が表れ、景気減速にいったん歯止めがかかってきたようです。

製造業PMIと工業生産指数



(注) データは2015年3月～2016年3月（工業生産指数は1月を除き、2月は1-2月の前年同期比）。PMI（製造業購買担当者景気指数）は国家统计局による発表、好悪の判断の境目は50。数字は2016年3月。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 製造業の景況感が改善

政策効果で投資が上向き

- 3月の工業生産高は前年同期比+6.8%と1-2月の同+5.4%から大きく改善しました。製造業購買担当者景気指数（PMI）も50.2と8カ月ぶりに景気判断の節目となる50台に乗せました。
- 2016年1-3月の固定資産投資（設備投資や建設投資の合計）の増加率は前年同期比+10.7%と、1-2月の同+10.2%から拡大しました。不動産開発投資も1-3月は同+6.2%と、1-2月の同+3.0%から伸びが加速しています。

固定資産投資と不動産開発投資

(前年同期比、%)	2016年3月	2016年2月
固定資産投資	10.7	10.2
不動産開発投資	6.2	3.0

(注) データは2016年2月～2016年3月。2016年2月は1-2月。2016年3月は1-3月の前年同期比。
(出所) 中国国家统计局のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 中国政府の景気下支え策により、16年前半は持ち直しへ

- 中国政府が進めるインフラ投資が固定資産投資の増加につながり、金融緩和や住宅購入の規制緩和の効果が不動産開発投資の伸びに表れているものとみられます。これらの投資の回復に伴い、足元の生産活動に改善の兆しが出ているようです。
- 中国政府による金融緩和政策や財政政策などが追い風となっています。製造業の景況感が改善していることから、当面景気は持ち直しの動きが期待されます。4-6月期の実質GDP成長率は前年同期比+6.8%に上向く見通しです。

ここもチェック!

2016年4月18日 中国の実質GDP成長率（2016年1-3月期）
2016年3月25日 成長のカギを握る中国の「供給側改革」（中国）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。